

「祖谷のかずら橋シラクチカズラ資源確保プロジェクト」の推進

- 徳島県三好市の「祖谷のかずら橋」は、四国の秘境の徳島県三好市西祖谷山村にある国指定重要有形民俗文化財で、多くの観光客が訪れる重要な観光資源であるが、3年に一度架け替えが行われ、山間部に自生する架替資材のシラクチカズラの資源確保が課題。
- このため、平成30年2月、つる性植物の専門的な知見を有する香川大学農学部、徳島県三好市、徳島森林管理署が協定を締結し、三者が連携・協力して、国有林を活用しながら、シラクチカズラの資源確保と果実の活用に向けた取組を推進。
- 平成30年度は、挿し穂確保のための母樹の選定、三好市内国有林の植栽地の整備（上木伐採、シカ防護柵設置）等を実施。香川大学農学部が「シラクチカズラ苗増殖マニュアル」を作成。平成31年度は、①植栽地への苗木の植栽・保育（下刈等）、②果実生産量等の資源調査、③小中学生対象の「シラクチカズラセミナー」の開催等を推進。

■ 祖谷のかずら橋



■ シラクチカズラの苗木(4~5年生)



■ 挿し穂確保のための母樹選定(5本)



■ 香川大学による増殖技術指導



■ 植栽地の整備(H30年10月三好市内国有林)



■ シラクチカズラ資源確保に向けた三者連携協定(H30年2月)

